

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名		都市学校教職員各種事業団体参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	原田 奈利
	施策の柱	32	指導力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計一般	款10	項2	目1	事業連番10708 他	根拠法令	なし		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池郡内で組織する教育推進のための各種団体に対し負担金を支払うことで、都市の教育振興を図る。 事業団体名・・・小学校体育連盟、中学校体育連盟、合志市文化祭、中学校英語暗唱大会
【業務の流れ】	各団体から請求があった負担金について支払事務を行う。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	市内の児童生徒が参加する各種大会等の企画運営を行い、都市の教育の振興を図った。	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 年間の大会開催回数	市内の児童生徒が参加する各種大会等の企画運営を行い、都市の教育の振興を図る。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	各小中学校教職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	各種大会等の企画運営を行い、都市の教育の振興を図ってもらう。	ア: 市内10小中学校の教職員数
③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)		ア: 大会等に参加した児童・生徒の割合
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
多くの児童生徒に各種大会等に参加してもらう。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア	回	4	4	4	4	4	4	4	4
② 対象指標	ア	人	520	530	540	540	550	560	570	580
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	988	1,223	1,930	1,930	1,057	1,063	1,063	1,063
	(A)のうち指定経費	千円	988	1,223	1,930	1,930	1,057	1,063	1,063	1,063
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	0	2	0	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	50	0	54	0	54	54	54	54
	(B) 人件費計	千円	185	0	215	0	215	215	215	215
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,173	1,223	2,145	1,930	1,272	1,278	1,278	1,278

事務事業名	郡市学校教職員各種事業団体参画事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-------------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市内の児童生徒は、各団体の実施する事業（文化祭や小・中体連）に必ず参加するよう働きかけを行う。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 すでにすべての児童生徒が大会等に参加しており、成果指標も100%のため、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はなく、統廃合・連携は行えない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金については必要実経費の計上であり、支払いに係る事務経費についても必要最小限であるため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 各団体への負担金を支払う業務であり、運営等についてはそれぞれの団体が行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内すべての小中学校で活用される負担金であり、一部の個人又は団体が利益を受けるものではないため、公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市における事務は負担金の支払いのみであり、各団体の業務に関してはそれぞれの団体が実施しているため、役割分担としては適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

負担金が適正に支払われることで、郡市内の児童生徒が参加する各種大会等が企画運営され、教育の振興が図られた。それぞれの団体において適正に負担金を使い、児童生徒の教育に有効利用された。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						